

一礫著『1億総外交官』大機小機 日本経済新聞 2019年9月3日(火)朝刊を読む

1億総外交官

1. (1) 私たちが外国人に接する機会は飛躍的に増えた。
(2) 訪日外国人旅行者数は 2000 年の 476 万人に対し 18 年は 3119 万人。20 年弱の間に、6 倍以上の規模に拡大した。
(3) 今年の 1～7 月も前年を 5 % 上回っている。年間 4000 万人という目標が現実的になってきた。
2. 日本文化の魅力に触れて、「ここは自分の居場所だ」と実感してくれたかどうかだ。
3. (1) 一方、出国日本人数は、2000 年の 1782 万人に対し、18 年は 1895 万人。穏やかながら増加傾向を保っている。
(2) 2000 万人近い人々の外国滞在中の立ち居振る舞いは、相手国世論への影響を考えるうえで決して軽視できない。
(3) 国民全体、1 億総外交官時代の到来である。外国の人々から信頼されないと国は成り立たない。国のイメージをつくるのは、政府ではなく外務省でもなく、私たち国民である。

.....

塾生の皆様にも、ご紹介していただきたい内容ですので、まずは、ご一読ください。

また、同じく、本日の日本経済新聞<文化欄>の『『ハイジ』誕生秘話、日本のアニメーションの熱き青春』も、とてもためになりました。

.....

今は、アニメーション制作を教える学校もあるが、職場そのものが学校だった。

そのような職場から、テレビアニメシリーズ「ハイジ」や、「母を訪ねて三千里」、アニメ映画「じゃりン子チエ」「風の谷のナウシカ」は生まれました。

.....

開倫塾の「第二創業」も、いよいよこの 10 月から、3 年目の最後の半年に入ります。

「職場そのものが学校」といわれる「学習する組織 (Learning Organization)」づくりを、「第二創業」最後の 6 か月間を準備期間(キックオフの期間)としてスタートさせます。

よろしく願いいたします。

2019年9月3日(火) 6時31分